

# 『みんなの力で命と暮らしを守る』

## 今年も河川の「出水期」に備えましょー！

### 風水害への備えは大丈夫ですか？

少しでも危険を感じたら早めに避難を開始しましょう！

6月に入り、今年も河川の出水期を迎えました。特に、円山川は、上流が急な勾配であるのに対し、下流に位置する豊岡盆地周辺は緩やかな勾配のため、はん濫が非常に起きやすい地形です。また、最近では、「ゲリラ豪雨」と呼ばれる、短時間で猛烈な雨が局地的に降る回数が増えています。

被害を最小限に抑えるため、「自分たちの命は自分たちで守る」という気構えと日頃からの準備、そして家庭や地域での連携と助け合いで、豊岡市地域防災計画の合言葉『みんなの力で命と暮らしを守る』をモットーに、出水期に備えましょう。

《問合せ》防災課防災係 ☎23-1111

### 市の避難情報を正しく理解しましょう

市では、国土交通省、気象庁、兵庫県、民間の気象予報会社などの情報を総合的に判断し、災害の発生が予想される場合には、避難情報（3種類）を出します。

具体的には、災害の危険が高まると、事前に「避難準備情報」を発令します。その後さらに危険が迫ると「避難勧告」、さらには「避難指示」を発令します。「避難指示」が発令された場合は、事態が最も切迫した状況です（事態の展開があまりに急な状況ではいきなり「避難勧告」を発令することがあります）。この機会に避難情報の再確認をお願いします。また、台風などの接近時に、河川や田畑の様子を見に行ったり、近付いたりするのは危険ですので、絶対にしないでください。

### 河川の排水ポンプを停止することがあります

大雨や台風などによる河川の増水時は、内水被害軽減のため、排水ポンプを動かさず、支流から本流に水を排出します。しかし、円山川の立野地点の水位が堤防の一番上まであと1・5メートルに迫る7・16メートルを超え、さらに上昇の恐れがある場合は、堤防の決壊を防ぎ、まちを守るため排水ポンプを停止します。

### 出水期に「備える」ための大切なポイント

#### 防災情報を確認する

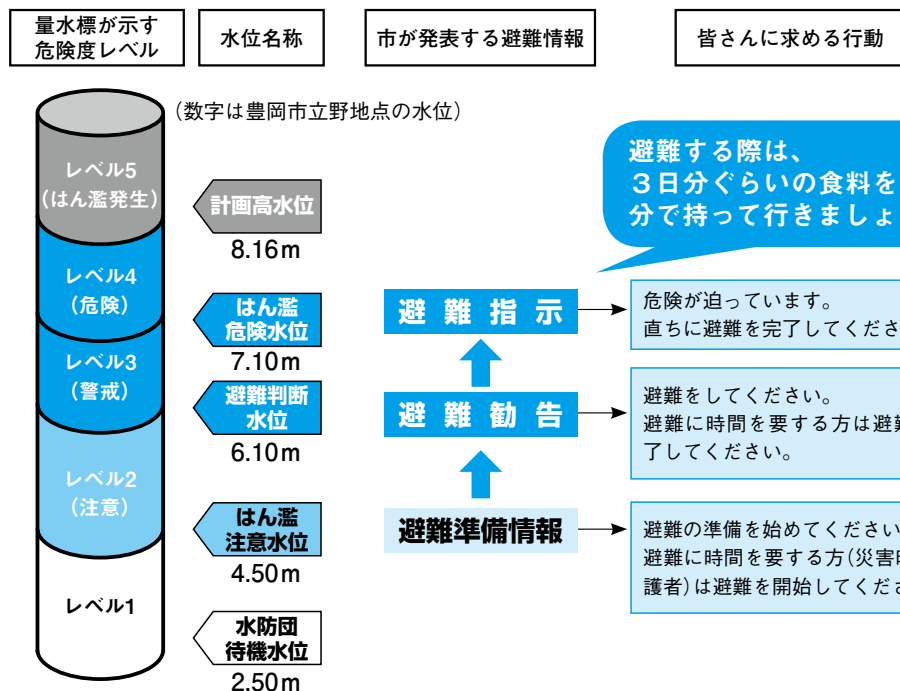
市内の気象情報や雨量情報、河川の水位情報、その他必要な情報を入手しましょう。

#### テレビ・ラジオ

台風などの進路予測、気象予報・警報などを入手できます。

#### 防災行政無線放送

## 河川水位の危険度レベルと避難情報



台風情報をはじめ、河川の水位情報や避難情報などをお知らせします。

は、防災行政無線の戸別受信機を、高い所や2階へ移動させましょう。

■とよおか防災ネット  
携帯電話で、次のアドレスから「お知らせメール」を登録すると、市から防災情報

【出水期とは…?】 6月から10月にかけて、集中豪雨(梅雨)や台風により、河川が急に増水し、洪水を起こしやすい時期のこと

報が届きます。

<http://posainet/toyooka/>

### 川の防災情報

国土交通省の河川情報などを入手できます。

※ホームページ

<http://www.river.go.jp/>

※携帯電話用

<http://river.go.jp/>

### 円山川防災情報

携帯電話で、次のアドレスから「防災情報配信サービス」を登録すると、国土

### 「緊急速報メール」

市では、緊急速報メール（NTTドコモ、au、ソフトバンク）を利用した災害情報配信サービスを行っています。

このサービスは、各携帯電話会社の電話利用者で、市内に居住の方、仕事や観光などで市内に滞在している方を対象に、気象庁からの緊急地震速報や市からの避難勧告などの重要な緊急情報を一斉に配信するものです（登録は不要）。

機種によっては、サービスが利用できないものや受信設定が必要なものがあります（各携帯電話会社ホームページなどでご確認ください）。

交通省豊岡河川国道事務所から防災情報が届きます。

<http://maruyama9-bosai.go.jp/>

### その他

防災関連の情報は、気象庁や市のホームページから入手できます。積極的な情報収集に努めましょう。

### 非常持ち出し品の確認

風水害時、市の避難情報が発令された場合、「避難する方が食料などの『非常持ち出し品』を持参すること」を原則としています。いざというときに備え、各家庭で、3日分の飲料水・食料・生活必需品の備蓄に努めましょう。

### 【主な非常持ち出し品】

- ・食料（非常食など）、飲料水
- ・毛布、衣類、下着類など
- ・懐中電灯、ラジオ、電池
- ・救急セット、貴重品、現金
- ・哺乳びん、紙おむつなど

### 避難所の確認

市が指定する避難所には、「災害時避難所標示板」を設置しています。

あらかじめ、市防災マップや市ホームページで最寄りの

避難所の位置

を確認

し、避難経路

も歩いておき

ましょう。



▲災害時避難所標示板

### 災害の発生またはその恐れがあるとき

- ・警察や消防団、区、自主防災組織の誘導・指示に従う
- ・避難する際、自宅の電気やガスなど火元を確認する
- ・避難途中の浸水、土砂災害に注意する
- ・避難所が遠方でない限り、車での避難は控える

### 避難が遅れた場合は

### 建物の2階以上へ！

浸水時に、水の深さが膝の位置を上回ると、避難するのは非常に危険です（それ以下の深さでも、水の流れによっては歩行は困難です）。

### ○水平避難

道路が冠水するまでの段階で指定避難所に移動（単独で避難せず、自主防災組織などと共に行動）

### ○垂直避難

道路の冠水時や

夜間は、危険箇所を確認できないため、自宅の2階以上か、近くの丈夫な建物の2階以上に一時退避（むやみに指定避難所に移動するのは危険を伴う）



### 災害時要援護者の避難に協力しましょう！

皆さんの地区内にお住まいの高齢者や子ども、病気の方など（災害時要援護者）は、早めの避難が必要です。災害時要援護者の避難は、地域みんなで協力し、安否確認や避難の手助けをしましょう。

### 土砂災害から

### 身を守りましょう

出水期には、山間部などで「土石流」「地すべり」がけ崩れが発生しやすくなります。

### ■土砂災害発生の前兆

- ・雨の降り方が異常
- ・急に川の水が濁る
- ・裏山からの異様な音（地鳴りなど）や土臭いにおい
- ・がけの亀裂や水が噴き出す
- ・がけから小石がパラパラ落

ちる

など

市民の皆さんへは、防災行政無線などを通じて注意を呼びかけますが、少しでもおかしいと感じたときは、早めの自主避難をお願いします。



### 防災行政無線放送は聞こえていますか？～戸別受信機の受信状況の確認を～

### 【受信状況の確認方法】

- ・戸別受信機の電源が入っていますか？（緑色のランプが点灯します）
- ・毎週火・金曜日の定時放送（午前・午後とも7時30分）が流れていますか？

### 【放送が聞こえないとき】

- ・戸別受信機の設置場所やアンテナの向きを変えて受信可能な場所を探す。

※受信状況は、気候や周辺の環境（建物の新築等）などで変わるため、これまで受信できた場所でも受信状況が悪くなる場合があります。

受信できない場合は、防災課または各総合支所地域振興課にお尋ねください。